

(第39期)

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

旭化成設計株式会社

科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	(88,251,418)
流 動 資 産	445,033,173	流 動 負 債	88,251,418
売 掛 金	55,562,680	未 払 金	46,521,721
仕 掛 品	1,561,328	預 り 金	78,365
前 払 費 用	1,174,708	未 払 費 用	12,954,632
立 替 金	270,000	未払住民税及び事業税	9,237,200
短 期 貸 付 金	378,378,457	未 払 消 費 税 等	4,589,500
繰 延 税 金 資 産	8,086,000	賞 与 引 当 金	14,870,000
固 定 資 産	13,365,349		
有 形 固 定 資 産	3,021,786	(純 資 産 の 部)	(370,147,104)
建 物 付 属 設 備	2,566,251	株 主 資 本	370,147,104
器 具 及 び 備 品	455,535	資 本 金	30,000,000
無 形 固 定 資 産	145,600	利 益 剰 余 金	340,147,104
ソ フ ト ウ ェ ア	0	繰 越 利 益 剰 余 金	340,147,104
電 話 加 入 権	145,600	(うち、当期純利益)	(96,380,025)
投 資 そ の 他 の 資 産	10,197,963		
繰 延 税 金 資 産	361,000		
差 入 保 証 金	9,836,963		
資 産 合 計	458,398,522	負 債 ・ 純 資 産 合 計	458,398,522

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

…… 建物（建物付属設備は除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物は定額法、その他の有形固定資産は定率法

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

…… ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法
その他の無形固定資産は定額法

(3) リース資産

…… 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法
なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金……賞与の支給に充てるため、当期に負担すべき支給見込額を計上している。

3. 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

4. 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用している。

(会計方針の変更に関する注記)

1. 平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号）を当事業年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更している。
なお、この変更による営業利益、経常利益及び税引前当期利益に与える影響は軽微である。

(表示方法の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(誤謬の訂正に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当事業年度の末日における発行済み株式の総数
普通株式 60,000株2. 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項
該当事項はありません。3. 当事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項
該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

属性	会社名	当該関連当事者の議決権等の所有割合	勘定科目	期末残高(円)
親会社	旭化成(株)	100%	未払金	32,625,637
			短期貸付金	378,378,457
	旭化成ホームズ(株)	100%	売掛金	55,562,680
			差入保証金	9,836,963

(資産除去債務に関する注記)

該当事項はありません。